

エクラン国立公園の 4000m 峰に登る ドーム・デ・ネージュ (Domme de Neige) 4.015 m

期間 2013.8.5 ~ 8.6

オールマウンテンクラブ

ヴァノアーズ国立公園のトレッキングを終え、プラロニアンからツール・ド・フランスで有名なイズラン峠を越え、ブリアンソンを経由してエクラン山群のエールフロワド村までのドライブは難渋した。今回レンタルした車にはナビが付いていないため運転しながら道路標識を見逃さずに走行しなければならない。妻がナビゲーターを担ったが何度か行きつ戻りつを繰り返しながらエールフロワド村に着いた。念のために日本から GPS を持参していたので少しは役に立ってよかった。

ドライブ中の風景は目まぐるしく変化する。ブリアンソンまでの途中の村では屋根を平たい石で葺いている造りであったが、バロウイス村辺りからはトタン屋根の家が変わった。いつも登山中心であるがこうした村々の歴史と生活様式を調べるときと何かが見えてくることであろう。

登山 1 日目 8 月 5 日

翌日、登山口の駐車場に移動し登山活動に入る。登山口にはマダム・カルレ小屋と閉まっているセザンヌ小屋、小さな山岳資料館、公衆トイレがあった。道程は平坦な林の道を抜けジグザグの道を登り高度を稼ぐ。途中のグラシェ・ブラン小屋には寄らず手前でゆっくり休む。その後はモレーンから氷河歩きとなる。最後はガレ場を 100m 程の登りを経て山腹に建つエクラン小屋に到着した。結構きつい行程であった。小屋から見たエクランの圧倒的な北壁とブラン氷河に威厳を持って鎮座するエクラン峰の姿が美しかった。夕食後は早々に明日からの登山に思いを馳せながら暮れやらぬベッドの中に潜り込んだ。



登山口の風景



『黒い谷』を振り返る



グラシェ・ブラン小屋



モレーンから見下ろしたブラン氷河



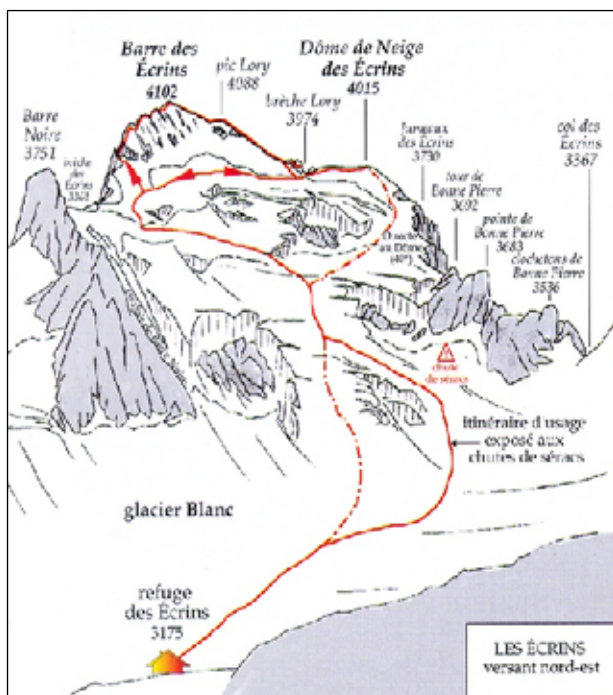
ブラン氷河を歩む



エクラン小屋（右奥にエクラン北壁が見える）



エクランとエクラン小屋からのルート図
左がパール・デ・エクラン(4102m)
右がドーム・デ・ネージュ(4015m)



登山2日目 8月6日

せわしない朝食を済ませ山小屋を出発。ライトを点けてブラン氷河まで岩場を100m程下り、アイゼンとハーネスにロープを結ぶ。ブラン氷河の先には多くのライトが光る。長々と氷河をたどり、日が明けるにつれてブラン氷河の源頭に北壁の圧倒的な姿が見えてきた。

北壁の下で十分休養してから急斜面の登りにかかる。見上げる北壁は急峻ではあるが、多くの足跡によって安定したステップができており、これを利用して登ることができた。気温は高く無風快晴の天候、氷化したところはほとんどなかった。日本を出発する前からの心配が杞憂に終わり何となく力が抜けてしまった。このような好条件を与えてくれたアルプスの女神に感謝しなければならない。

頂稜下にできた長いベルクシュルトを避けるため、右端へと大きくトラバースする。トラバースした先がパール・デ・エクランとドーム・ド・ネージュとのコルになる。この先パール・デ・エクランに向かうにはコルから10m程の岩登りになる。私たちは比較的やさしいドーム・ド・ネージュへと向かう。頂上までは小さなベルクシュルトを越えて40m程の登りを残すのみである。気を引き締めて最後の登りにかかる。今回、最高峰のパール・デ・エクランの十字架までは至らなかったが目標としたドーム・ド・ネージュに登ることができ、頂上から素晴らしい展望を得ることができたことは大きな喜びであった。



夜が明け始める



急峻な北壁の取り付き



ベルクシュレントを右に大きく巻く



コルからドーム・ド・ネージュへ最後の登り



パール・デ・エ克蘭に向かうにはコルから岩登りとなる

